

【紙記録はもうヤメ】 これからの漁獲量記録の定番システム！

紙の記録はもう終わり。

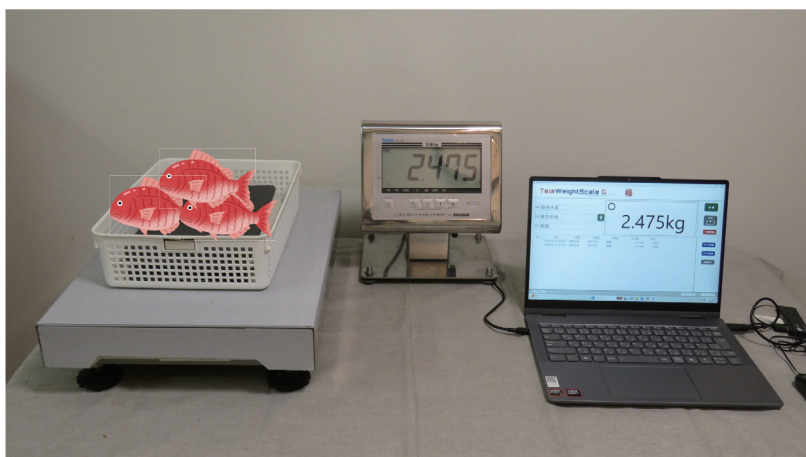
漁港では、水揚げした漁獲量をはかりで計量し、記録用紙に手書きしている例が多いようです。



そこで、トロ箱をはかりに載せるだけで、漁獲量を簡単に記録できる方法をご紹介します。

【ご紹介システム】

- ・ シンプル漁獲量記録システム
- ・ 複数計量の同時記録システム



【紹介動画】

【紙記録はもうヤメ】 これからの漁獲量記録の定番システム！

<https://youtu.be/Xd3WvIDUApw>



【シンプル漁獲量記録システム】

パソコンの画面で、魚の種類を指定した後、水揚げした鮮魚の入ったトロ箱などをはかりに載せるだけで、自動的に漁獲量をパソコンに記録できます。

記録データには、漁港名、魚の種類、作業者など、いつ、何処で、誰が、何の魚を計量したかなどを情報として登録できます。

登録したデータは、CSV形式で記録され、エクセルなどで確認・編集ができます。



【複数計量の同時記録システム】

漁獲量の計量で、はかりを複数台使用する時、はかり毎にパソコンを接続するのは無駄ですね。

複数計量の同時記録システムは、1台のパソコンにはかりを最大4台まで接続し、はかり毎に魚の種類を設定する事で、漁獲量を同時に登録できます。

また、はかり毎の合計値が表示されるので、種類別の水揚げ状況が確認できます。

登録したデータは、CSV形式で記録され、エクセルなどで確認・編集ができます。

